

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- 新年のご挨拶…………… 1P
- 非営利団体におけるIT活用とIT人材の実態
STOに対するニーズに関する調査報告・1P
- 知多地域のフードバンク活動…………… 1P
- Amazon「みんなで応援」プログラム…… 1,2P
- 2020年度「通いの場」モデル事業…………… 2P
- 知多市男女共同参画行動計画…………… 3P
- 「生活困窮者自立支援
全国研究交流大会」準備会…………… 3P
- 伝統野菜の料理講習会のご案内…………… 3P
- サポちたインフォメーション…………… 4P

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もスタッフ一同、精一杯努めさせていただきます。よろしくご指導・ご鞭撻のほど、一層のご愛顧を賜りますようお願いいたします。

連日の新型コロナウイルス感染症に関する報道に、みなさまも固唾を呑んで見守るといったところでしょうか。「2020 ユーキャン新語・流行語大賞」（現代用語の基礎知識選）の年間大賞に、「三密」が選ばれました。感染予防に有効な手立てとして、密閉・密集・密接の状態を回避することが求められています。私たちの日常において、隙間なくぴったりと閉じた状態である「密閉」は、空気を入れ替えることで回避することは可能ですが、福祉支援の現場では、人と人が集まる「密集」、接触すること「密接」を避けることはとても難しいです。日々支援に奔走される福祉現場で行われている、感染症対策を参考にさせていただきながら、私たちにもできる手洗いやうがい等の基本的な予防策を、今後も徹底していきたいと思っております。

さて、コロナ禍の影響により変化した一つに、会議のオンライン化があります。いち早く新しい環境に慣れようと、知多市市民活動センターでは、知多メディアネットワーク（株）様のご協力の下、オンライン参加型講座を実施しました。今後は、IT支援力向上と同時に、他セクターとの連携・協働をさらに進めたいと考えております。 代表理事 市野恵

■非営利団体におけるIT活用とIT人材の実態及び、STOに対するニーズに関する調査報告

（認N）NPOセンター、（一社）Code for Japan、（認N）ETIC.、（株）NTTデータは、非営利団体（以下「NPO」）のIT活用状況について全国調査を実施、その調査結果及び分析を、2020年12月15日に発表しました。調査によって、NPOは多方面でのIT活用に意欲的であること、STO（※）に対する具体的なニーズがあ

ることが明らかになった一方で、人数・質の両面でIT人材が不足していること、資金面やIT活用に対する理解へのハードルの高さも示された。本調査結果は、<https://www.jnpoc.ne.jp/?p=21436>より閲覧できる。

（※）「STO」とは、経営の視点から、ITに関わる活用戦略、人材戦略、投資戦略などを、NPOにアドバイスし、実践を主導する人材。

■知多地域のフードバンク活動

知多地域のフードバンク活動は、（認N）セカンドハーベスト名古屋と常滑市社会福祉協議会（以下「常滑市社協」）、当法人との連携にて、2013年9月に始まった。そして、2019年9月に、運営方針である食品ロス軽減と地産地消の達成をめざし、拠点である常滑市社協の自主事業として再スタートした。変更点は、登録団体相互の連携・協力を図るため会員制を原則としながら、従来のフードバンク活動を継承している。

フードバンク活動は福祉団体への食品提供が主だが、2020年4～5月は、常滑市内の個人支援が、延べ1,000食分あった。常滑市民の60人に一人へ提供していることから、コロナ禍の影響がわかる。

一方、「市民にもこの活動の認知が進み、支援の輪は確実に広がっている」と、常滑市社協の山下事務局長は語る。今後は、2020年8月に立ち上がったフードバンク常滑や（N）フードバンク愛知（北名古屋市）とも連携していくとのこと。

■Amazon「みんなで応援」プログラム

当法人は（一財）非営利組織評価センターからグッドガバナンス団体として、全国で9番目に認証された。認証団体は、昨年未で31団体と広がった。2020年12月18日より、アマゾンジャパンとグッドガバナンス認証団体が、社会貢献を目的とした連携を開始。新たな寄付の形として期待したい。（詳細は、中面参照）

■Amazon「みんなで応援」プログラム

(一財)非営利組織センター(JCNE)が認証するグッドガバナンス認証団体は、アマゾンジャパンの社会貢献活動の一つである「みんなで応援」プログラムに参加できることとなった。このプログラムは、全国各地で物資の支援を必要としている団体等をアマゾンジャパンを通じて支援する仕組みであり、団体等が作成した「ほしい物リスト」から商品を購入することで、支援したい人は簡単に物資の支援が行うことができる。

方法は、以下の通り。

1. 「Amazon『みんなの応援』プログラム」Webサイトから支援する団体を選んで、「ほしい物リスト」を見る。
2. 贈りたい商品を選んでカートに入れる。
3. 支援先の住所を選択して商品を購入する。
4. 団体に商品が届けられる。

グッドガバナンス認証を取得している(N)りんりん(半田市)は、既に本プログラムに参加し、子ども食堂で使うお米やお菓子などの寄付物資の支援を受けることができた。

当法人も本プログラムを活用できるよう、参加を申請中。中間支援団体として、会員団体に必要と



「Amazon『みんなで応援』プログラム」

している物があれば、当法人の「ほしい物リスト」に掲載し、寄付を募ることを検討している。(伊藤)

■2020年度「通いの場」モデル事業 (認N)絆と協働にて開催

2019年度から、愛知県より受託し、3カ年の計画でスタートした「高齢者地域コミュニティ参加促進事業」。高齢者の社会参加を推進するため、既存の「通いの場(※1)」が抱える「男性の参加が進まない」、「利用者の固定化」などの課題解決をめざし、広報・周知手段や運営方法、また事業の効果などを分析し、マニュアルとして県全域へ普及することを目的としている。

本年度は(認N)絆(東浦町)との協働により、「地域の縁側グリーン・ラソ」、「ラソ・プラザ」、「あんきにきて家」を拠点に実施。「新聞ちぎり絵講座」、「さをり織り講座」、「懐かしのレコード鑑賞会」など定期的に開催するイベントか

ら、「伝統野菜の料理教室」、「コーヒー淹れ方講座」など、男性講師による新たな参加者を促すための講座も開催。今後も「各駅停車で行く旅の話」、「味噌玉づくり」「新聞ちぎり絵講座」の様子。指先を



使ってできる、脳トレにもなるアート

している。こうした地域の「通いの場」情報は、愛知県が開発した地域包括ケアに関する情報発信サイト「あいち地域包括ケアポータルサイト(※2)」で公開している。さらには、コロナ禍により高齢者の外出する機会が減ったり、遠方に暮らす家族と会えなかったりと、気持ちが落ち込み、閉じこもりがちになることが心配されているため、厚生労働省よりスマートフォンやタブレットで活用できる「オンライン通いの場(※3)」もリリースされている。高齢者と地域を結ぶツールの一つとして、ぜひ活用してほしい。(安藤)

(※1)「通いの場」とは、介護予防を推進するため、様々な活動を通じて仲間と楽しんだりリフレッシュしたりと、日々の生活に活気を取り入れてもらうために地域の高齢者が集う場のこと。

(※2)「あいち地域包括ケアポータルサイト」地域包括支援センターの検索や、認知症チェックなども手軽にできる。また地域のイベントなどに取り組む活動団体として登録することで、「あいち地域包括ケアポータルサイト」活動内容や催しの告知することができる。



「あいち地域包括ケアポータルサイト」

<https://www.aichi-chiikihoukatu-portal.jp/>

(※3)「オンライン通いの場」

コロナ感染拡大防止を図りつつ、介護予防の取り組みを推進する事を目的として、厚生労働省が勧めるスマートフォンやタブレット用のアプリ。おすすめのお散歩コースを検索・登録できる「おさんぽ支援」や、自治体が提供する体操動画を検索できる「自宅でできる体操」など運動や健康づくりに取り組める。

<https://kayoinoba.mhlw.go.jp/article/005/>

■知多市男女共同参画行動計画 (知多市ウイズプランⅢ)

今年度、当法人は、知多市と連携し、来年度から実施される「知多市男女共同参画行動計画（知多市ウイズプランⅢ）」の策定を行っている。これは、知多市における「男女共同参画」の推進のため、基本理念や基本目標、基本施策、行動プラン、推進体制などを盛り込んだ、総合的な基本計画である。

「だれもが『自分らしく』生きられる知多市をめざして」を基本理念に、「人と人とのつながり」を大切に、「だれもが互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、自分の個性と能力を十分に発揮でき、『自分らしく』生きられる男女共同参画社会」を、市と市民・地域・NPO・事業者が、連携・協働して実現をめざす。

「男女共同参画社会（※）の実現」は、「21世紀の我が国社会を決定する最重要課題」と位置付けられ、社会のあらゆる分野において、男女共同参画社会の形成の促進に関する取組を推進しているにもかかわらず、なかなか浸透してはいない。男性に限らず、多くの女性も、「男女共同参画」という言葉自体は知っていても、実際の内容やなぜ必要なのか、男女共同参画社会が進むとなぜよいのか、などはあまり理解できていないと感じる。「男女共同参画」は、女性の支援という印象が強いが、本来は、女性の生き方に限らず、すべての人にかかわる課題である。

知多市ウイズプランⅢの策定にあたり、2019年度に行った住民意識調査によれば、「家事や育児は、夫婦で分担する」ことがよいと思っている人は多い。しかし、実際に分担ができていない人は多くはない。さらに、分担ができていないことを周囲に伝えると、「旦那さんにそこまでさせていいの」と周囲の反応は冷たいという。「だれもが『男女共同参画社会』について理解し、その実現を『自分のこと』として捉え、実現の担い手の一人として、それぞれの個性や能力を発揮し、行動して、様々な活動に参画すること」が大切である。

また、先述の住民意識調査で特徴的だったのは、「『男性』とか、『女性』とかではなく、『個人』として考えた方がよい」という意見が多く書かれていたこと。世間的に、「LGBTQ」の認知が上がっていることもあるが、年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、「だれもが『自分らしく』生きられる」ためには、多様性を認め合うことが必要で、「男女」ではなく、「個人」という視点は、「男女共同参画社会の実現」のためには重要である。

現在、国が「第5次男女共同参画基本計画」の策定を進めていることや、SDGsの5番目に「ジェンダー平等を実現しよう」という項目があることなどで、注目も高まりつつあり、それらが後押しするこ

とも期待しているが、まずは、自分ができることから実行し、少しずつでも男女共同参画社会が進むとよい。

1月22日（金）まで、「知多市ウイズプランⅢ」のパブリックコメントを実施している（<https://www.city.chita.lg.jp/docs/2020121400013/>）。興味のある方は、意見を寄せてほしい。（早川）

（※）「男女共同参画社会」とは、「ひとりひとりの豊かな人生」のために、「男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」である（内閣府男女共同参画局ホームページより）。

■「生活困窮者自立支援 全国研究交流大会」準備会

11月13日（土）、14日（日）に、東海市で開催が予定されている、「第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」に向け、12月9日に日本福祉大学名古屋キャンパスおよび、オンラインにて準備会が開催され、当法人も参加した。

同大会は、（一社）生活困窮者自立支援全国ネットワークが主催しているもので、生活困窮に関わる多くの支援者（実践者、組織、行政、国会議員、研究者など）が課題を共有し、解決策にむけて協議できるネットワークをつくることを目的に、2014年から開催されており、現在は、厚生労働省からの委託事業になっている。今回は、東海地域で初の大会であり、今後、日本福祉大学の原田副学長を中心に、実行委員会が結成され、大会事務局と連携して大会の準備が進められていく。

大会1日目は基調講演と全体シンポジウム、2日目は分科会となっており、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、「オンライン」と「参集」の両面で開催される。当法人も実行委員会に参画し、協力していく予定。（伊藤）

◆伝統野菜の料理講習会のご案内◆

プロ厨房オイシスの施設内を見学した後“愛知の伝統野菜”を使った料理講習会を開催します。

日時：3月22日（月）10：00～14：00

会場：東邦ガス プロ厨房オイシス

講師：高木幹夫氏（あいち在来種保存会代表世話人、フードコーディネーター、野菜ソムリエ）

田中稔氏（フードコーディネーター、料理研究家）

定員：10名（申し込み締め切りは2/26まで）

参加費：1,000円

問合：～手づくりカフェ～Ada-coda（担当：安藤、幸前）

※本事業は、前田建設工業㈱『地球への配当プロジェクト』の協賛により運営しています。

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

■人財・志事ツクール2020

SDGs講演会～持続可能なまちづくり～ 「SDGsを活用した地域活性化とは」

これから、事業や活動に、SDGsを取り入れようとする人の
のはじめの一歩として、私たちは、何から始めることができる
のかを一緒に考える。講師は、(一社)中部SDGs推進セン
ター代表理事、戸成司朗氏。

〈日時〉1月30日(土)14:00～15:30

〈場所〉メディアス体育館ちた 大会議室

〈参加費〉無料

〈対象〉テーマに関心のある方はどなたでも

〈定員〉会場:40人 オンライン:60人(いずれも先着順)

〈問合せ・申込〉ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク事務局
(担当:下村)

☎0562-36-2639

メール:chita.tsuchool.net@gmail.com

もしくは、知多市市民活動センター(担当:市野)

☎0562-31-0381

■知多市市民活動センター主催 waiwai交流会

「Zoomを使いこなそう

～オンラインでできる市民活動(中級編)～」

「ブレイクアウトセッション」、「スポットライト」、「ホワイトボ
ード」、「投票機能」など、Zoomのいろいろな使い方やコツが学
べる。コツがわかれば、Zoomがもっと使えるようになる。

〈日時〉2月9日(火)13:00～15:00

〈開催方法〉オンライン

〈参加費〉無料

〈定員〉40人(応募者多数の場合は、抽選)

〈参加条件〉①市民活動に興味関心がある

②「Zoom」を使用できる環境がある

③「Zoom」の基本操作ができる

〈締切〉2月1日(月)

〈問合せ〉知多市市民活動センター

(担当:伊藤、久田)

☎0562-31-0381

〈申込〉

フォーム



■サービ斯拉ーニング情報交換会

日本福祉大学の教育プログラム、サービ斯拉ーニング受入
団体担当者の情報交換会を開催する。今年度はコロナ禍の
ため、例年になく対応をせまられ、不便だったこと、また新た
に気づいた発見など、いろいろな意見や感想を交換したい。

〈日時〉2月15日(月)10:00～12:00

〈場所〉知多市市民活動センター 2階会議室

※オンライン(Zoom)参加可

〈対象〉SL担当教員、SL受入団体担当者

〈出欠締切〉1月15日(金)

〈問合せ〉(N)地域福祉サポートちた(担当:江端)

☎0562-33-1631

■【スタッフ募集】児童発達支援事業所nico

児童発達支援事業所nicoでは、業務拡大のため、スタッフ
を募集している。詳細は、問い合わせを。

〈業務内容〉・子どもへの直接支援フォロー

・保育園へのお迎え

・保育園や学校への訪問のフォロー

・施設の環境設定

〈資格〉社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許、作業療
法士、理学療法士、保育士など、国家資格のある
方。もしくは、障がい児支援に2年以上直接関わった
ことのある方

〈日時〉月曜日から金曜日、週3日から6時間程度 応相談

〈勤務場所〉児童発達支援事業所nico

知多市朝倉町184

〈その他〉職場内研修あり

〈問合せ・申込〉(一社)BumpyCompany(担当:片山)

☎090-7856-0367

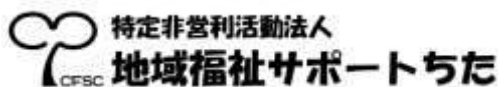
新会員紹介 ☆*.*.*.*☆..*°.*☆:* *:*°..☆..*

ご入会ありがとうございます。(2020/12/31現在)

【正/個人】菊池 遼 様

【正/個人】奥山 善仁 様

:*° ☆*:*.*.*.*☆..*°.*☆:*.*.*° :°°..☆.☆:*.*☆..*



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた

HP:cfsc.sunnyday.jp/

FB:facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda

HP:cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/

FB:facebook.com/Adacoda.cafe/